

8－1 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動（2009年11月～2010年4月） Seismic Activity in and around the Kinki, Chugoku and Shikoku Districts (November 2009 – April 2010)

気象庁 大阪管区気象台
Osaka District Meteorological Observatory, JMA

今期間、近畿・中国・四国地方とその周辺で M4.0 以上の地震は 8 回、M5.0 以上の地震は 2010 年 4 月 27 日に三重県南東沖で発生した M5.2 の地震の 1 回であった。

2009 年 11 月～2010 年 4 月の M4.0 以上の地震の震央分布を第 1 図 (a) 及び (b) に示す。

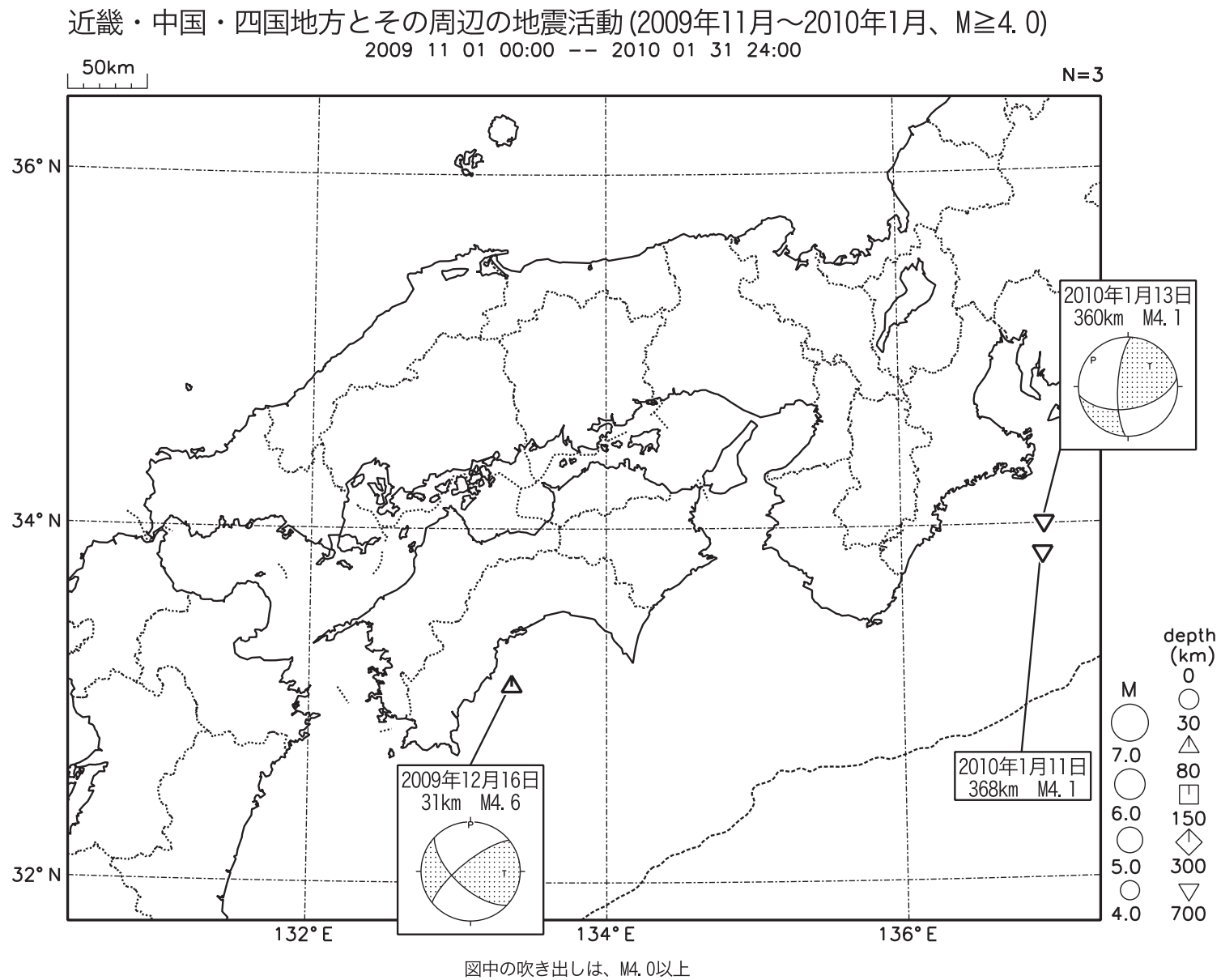
主な地震活動は以下のとおりである。

(1) 土佐湾の地震（M4.6，最大震度 4，第 2 図）

2009 年 12 月 16 日 14 時 12 分に土佐湾の深さ 31km で M4.6 の地震（最大震度 4）が発生した。発震機構は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震であった。

(2) 伊予灘の地震（M4.5，最大震度 4，第 3 図）

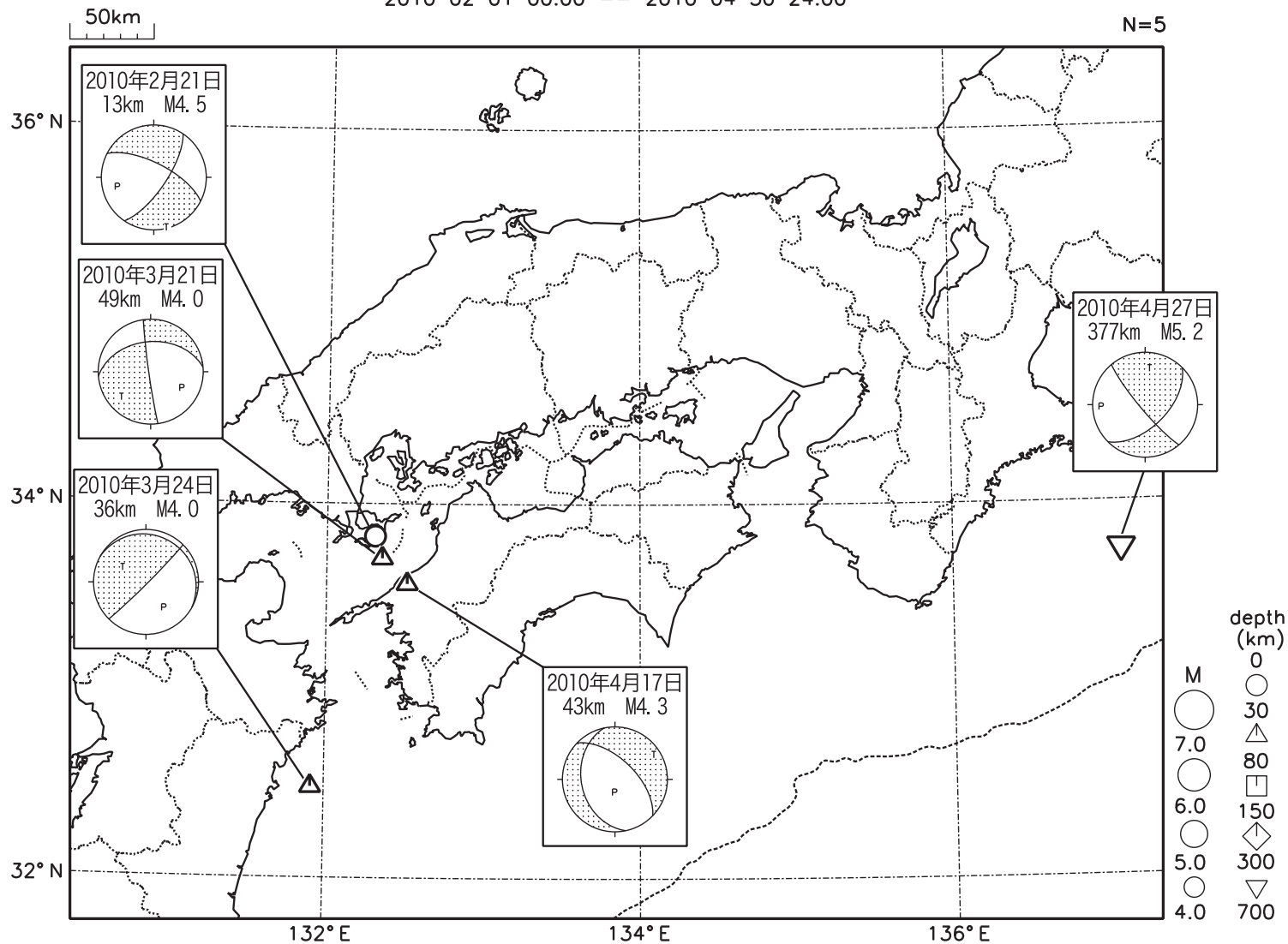
2010 年 2 月 21 日 11 時 49 分に伊予灘の深さ 13km で M4.5 の地震（最大震度 4）が発生した。発震機構は東北東－西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震であった。



第1図 (a) 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動 (2009年11月～2010年1月、 $M \geq 4.0$ 、深さ ≤ 700 km)
Fig.1(a) Seismic activity in and around the Kinki, Chugoku and Shikoku districts (November 2009 – January 2010, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km).

近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動 (2010年2月～4月、 $M \geq 4.0$)

2010 02 01 00:00 -- 2010 04 30 24:00



図中の吹き出しは、 $M4.0$ 以上

第1図(b) つづき (2010年2月～4月、 $M \geq 4.0$, 深さ ≤ 700 km)

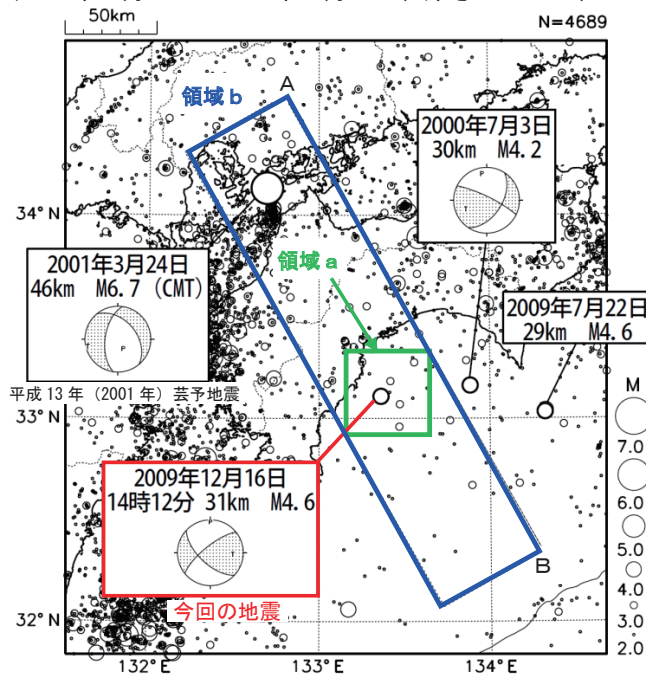
Fig.1(b) Continued (February – April 2010, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km).

12月16日 土佐湾の地震

フィリピン海プレート内部の地震、横ずれ断層型、M4.6、最大震度4

震央分布図

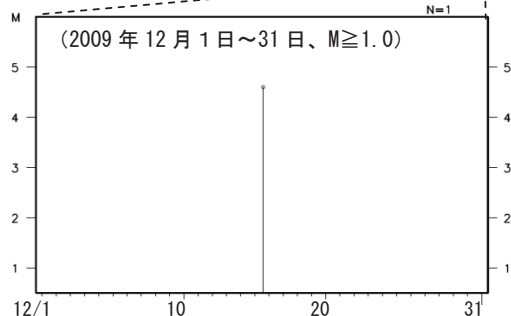
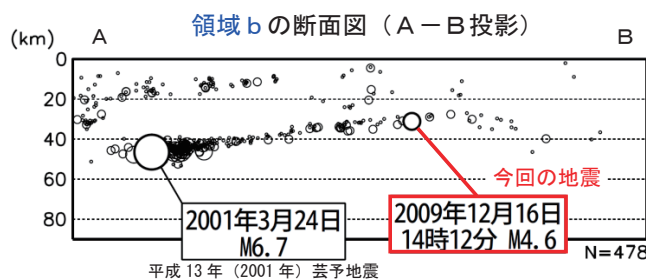
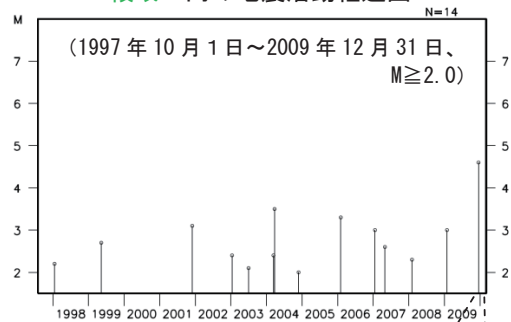
(1997年10月1日～2009年12月31日、深さ0～90km、 $M \geq 2.0$)



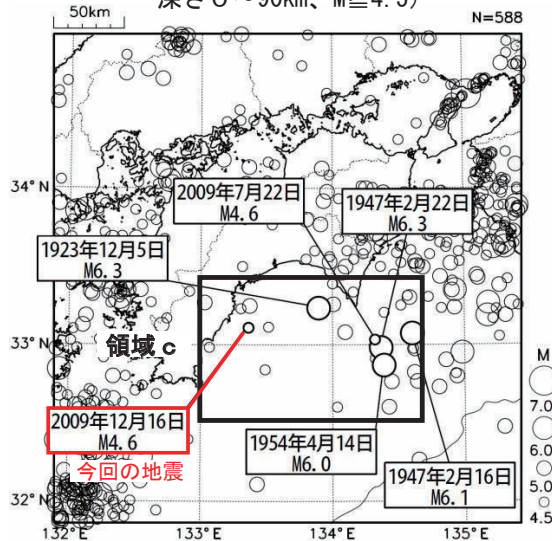
2009年12月16日14時12分に土佐湾の深さ31kmでM4.6の地震 (最大震度4) が発生した。発震機構は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。余震活動は観測されていない。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、M4.0以上の地震は発生していなかった。

領域a内の地震活動経過図

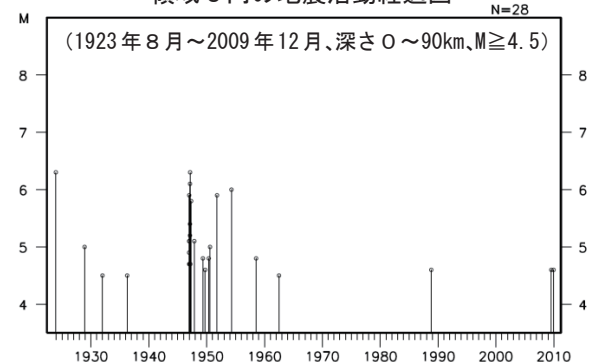


震央分布図 (1923年8月～2009年12月、深さ0～90km、 $M \geq 4.5$)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域c) では、1946年の南海地震 (M8.0) の後やや活発であったが、その後は静穏に推移している。

領域c内の地震活動経過図

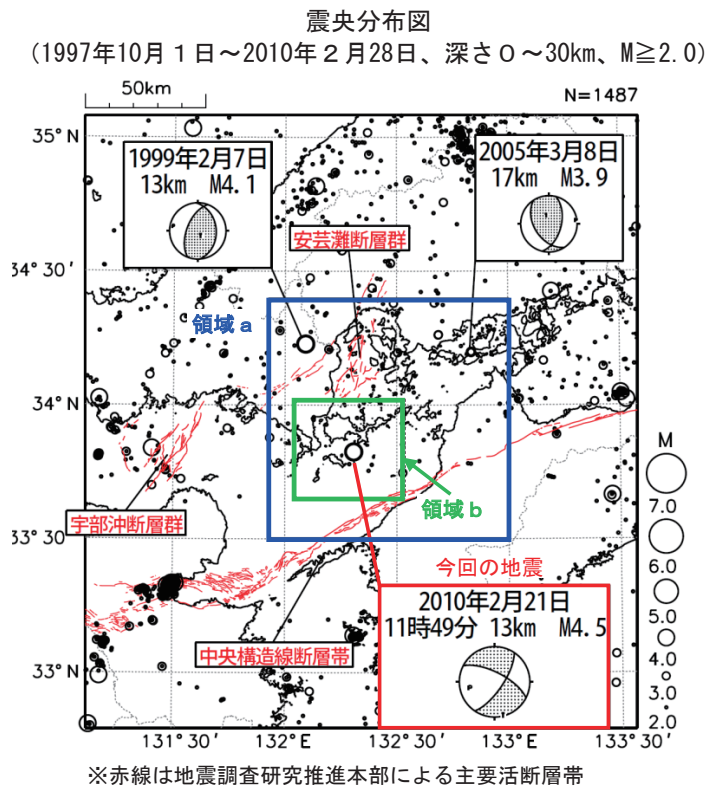


第2図 2009年12月16日 土佐湾の地震

Fig.2 The earthquake in Tosa Bay on December 16, 2009.

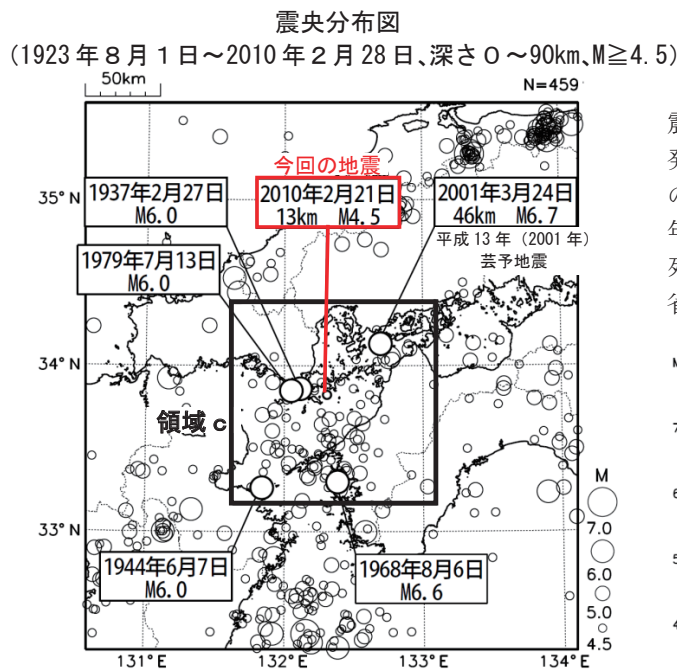
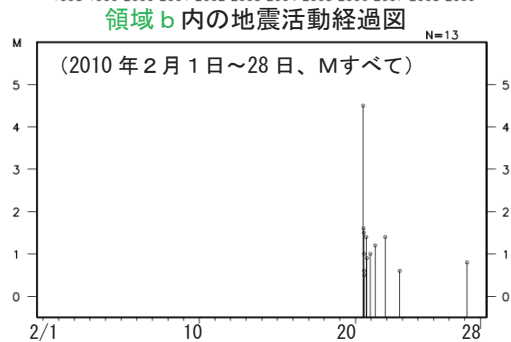
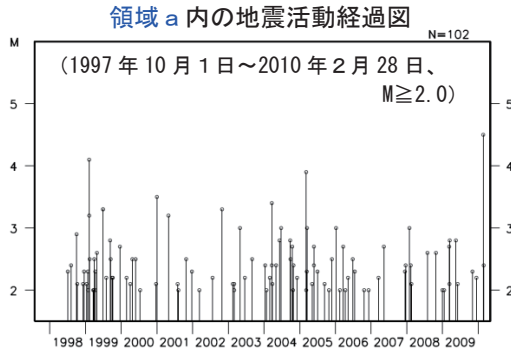
2月21日 伊予灘の地震

地殻内の地震、横ずれ断層型、M4.5、最大震度4

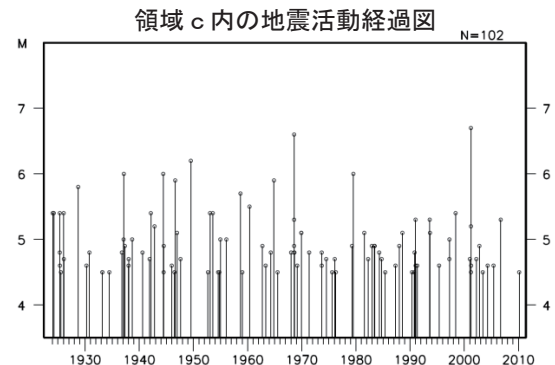


2010年2月21日11時49分に伊予灘の深さ13kmでM4.5の地震(最大震度4)が発生した。発震機構は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震である。余震活動はおさまっている。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M4.0前後の地震が時折発生する程度であった。



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2001年3月24日には、深さ46kmのフィリピン海プレート内で「平成13年(2001年)芸予地震」(M6.7、最大震度6弱)が発生し、死者2人、負傷者288人等の被害を生じた(総務省消防庁による)。



第3図 2010年2月21日 伊予灘の地震

Fig.3 The earthquake in Iyo Sea on February 21, 2010.